



生活道路における自動車の法定速度が引き下げられます!!



令和8年9月1日
改正道路交通法施行令施行

60 km/h → 30 km/h

ドライバーの皆様へ

最高速度は交通の安全と円滑を図るためにあり、これを守ることは、ドライバー・同乗者・歩行者・自転車の方々を守ることにつながります。

決められた速度の範囲内であっても、道路状況や天候等に応じて安全な速度で運転するように心がけてください。

生活道路とは…?

主に地域住民の日常生活に利用される、中央線や中央分離帯などが無い比較的狭い道路のことです。

■警察庁HP

▼生活道路における法定速度の引下げについて

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/seikatsudouro/seikatsudoro.html>



こんな道には特に気をつけよう

民家・商店が多い

通学路である

カーブが多い

天候などで視界が悪い



免許更新時は、交通安全協力金へのご協力をお願いします!

交通安全協会の活動にご協力をお願いします。



交通安全協会は、皆さまの運転免許更新時にご協力いただいている交通安全協力金等で活動しています。

地域ボランティアの方々や関係機関・団体の皆さまと一緒に、交通事故ゼロを目指して活動しています。

今後とも皆さまのご協力とご理解をお願いします。

- 高齢者の交通事故防止対策の推進
- シートベルト、チャイルドシートの全席着用
- 飲酒運転を根絶するための積極的な広報
- 優良運転者表彰の実施

交通安全協力金

5年更新者 (1,500円)

3・4年更新者 (1,000円)

加茂地区交通



文房具贈呈 (各支部) 写真は七宗支部
管内の新1年生に文房具を贈呈しました。



春の全国交通安全運動 (美濃加茂支部)
人波作戦・啓発活動を行いました。



(富加支部)



(東白川支部)

早朝街頭指導



可茂地区の高校生による交通安全大会



(八百津支部)

のぼり旗・横断幕を掲示して啓発しました。

安全協会の活動



(事務局)

令和7年度加茂地区交通安全協会 定期総会



交通安全七夕飾りで啓発 (美濃加茂支部)

太田小学校6年生の子どもたちが
交通安全の願いを短冊に託し、
警察署をはじめ市内5ヶ所の施設に飾りました。



夏の交通安全県民運動 (七宗支部)

道の駅ロックタウン七宗で出発式を行い
啓発活動を行いました。



(中濃講習センター)

高齢者講習を受ける人達に
うちわを配布し、啓発しました。



(川辺支部)

高齢者講習会



(坂祝支部)

坂祝駅で登校・通勤する人々に啓発品を配布しました。



自転車点検 (美濃加茂支部)
 中学校で安全に通学できるよう
 自転車の点検を行いました。



(坂祝支部)
 町内のスーパーでチラシや啓発品を配布しました。



交通安全を白川中学生が啓発 (白川支部)
 日没が日々早くなる11月に夜光反射材の着用を
 広報しました。



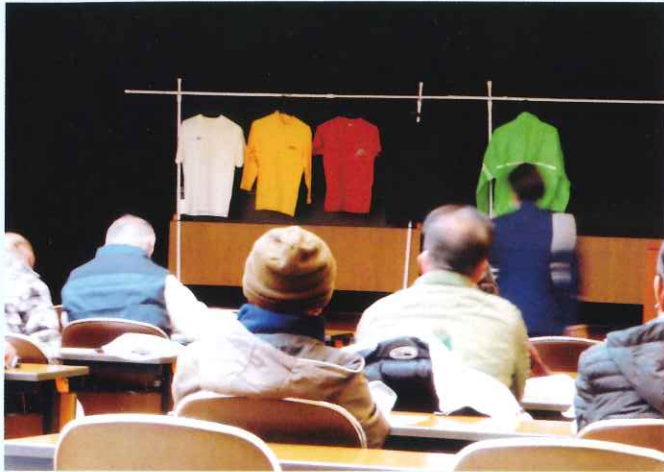
(事務局・加茂署)
 ラीडライバーの兼松さんを一日警察署長に委嘱し、
 市内スーパーで広報しました。



薄暮時 (川辺支部)
 町内のスーパーで啓発品を配布し、
 薄暮時の外出には反射材を身につけるよう啓発しました。



環境整備 (各支部)
 カーブミラーの清掃



高齢者大学校（富加支部）
各種反射材や服の色により
見え方が違ってくることの体験をしました。



町民祭で啓発活動（坂祝支部）



「かもけいさつフェスタ」
加茂警察署と可児警察署が合同で
各ブースで交通安全や防犯を広報しました。



年末の交通安全県民運動出発式
美濃加茂市出身のタレントさんに
一日警察署長を委嘱しました。



死亡事故現場点検
死亡事故が発生した横断歩道で
美濃加茂市・国道事務所等と現場点検を行いました。



青切符制度の広報（管内の各高校）
早朝より各高校でヘルメット着用と
青切符制度のパンフレットを渡しました。

今一度!!

自転車の青切符制度について…

16歳以上の自転車利用者を対象に113種類の違反に対し「青切符」が導入されました。

青切符

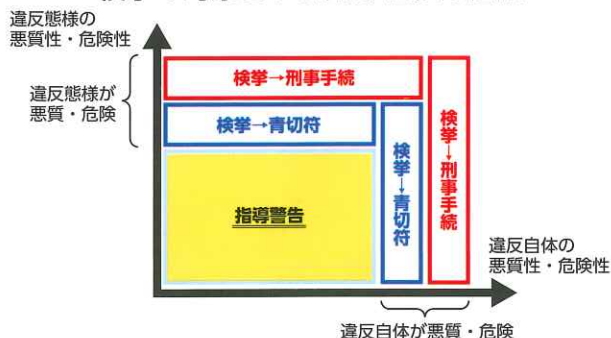
- ・反則行為の中でも重大な事故に繋がる恐れが高い違反
- ・違反の結果、実際に交通の危険を生じさせたり事故の危険が高まっているとき
- ・違反であることについて警告されているにもかかわらずあえて違反を行ったとき



赤切符等

- ・違反により実際に交通事故を発生させたとき
- ・特に重大な違反(酒酔い運転・酒気帯び運転等)

検挙の対象となる悪質・危険な違反



詳細は加茂警察署交通課(25-0110)へお問い合わせください。

加茂地区交通安全協会収支計算報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
協力金	9,929,239	事業費	5,608,973
事業収入	311,184	事務費	6,430,126
寄付金収入	1,260,000	特定預金支出	222,930
預金取り崩し	0	予備費	0
雑収入	200,755		
前期繰越金	2,746,773		
合計額	14,447,951	合計額	12,262,029

収入合計 14,447,951円 (未収金を含む)
支出合計 12,262,029円 (未払金を含む)
次期繰越金 2,185,922円

* 事業費

- 会議費
- 安全施設費
- 各期の交通安全推進
- チラシ・パンフレット等
- 支部の助成金
- 表彰費
- 新入生への鉛筆クリアファイル
- 委託費
- 保険料

* 事務費

- 職員給料福利費
- 通信運搬費
- 印刷製本費
- 租税公課
- 賃借料
- 消耗品
- Wi-Fi接続 等



緑十字金章に加茂地区交通安全協会会長中野勝博氏が
緑十字銀章には白川支部白川分会の尾崎一廣氏が
受章されました。

ちょっと交通安全 初めての女性ドライバー

初めて自動車を運転した女性は自動車の発明者の1人であるカール・ベンツの妻ベルタ・ベンツ夫人と言われる。1885年ベンツ氏がガソリンエンジン付き三輪車を作製した。

1888年のある朝カールが寝ている間にベルタ夫人がベンツ1号を持ち出し長男と次男を乗せてマンハイム市を出発しハイデルベルクを経由してフォルツハイムに到着した。実に200kmの行程であったという。

ついで、もう一人の発明者であるダイムラー氏はパリでの販売権をサラザン氏に与えていた。サラザン氏が亡くなると代理権確認のためサラザン夫人がダイムラー社のあるアンシュタットからパリまで帰ってきたと伝えられている。

日本の場合は必ずしも明確ではないが、大正6年9月渡辺はまさん(23才)が女性で初めて運転免許証を取得したと言われる。渡辺さんは17歳の水野さんと共に東京自動車学校で6ヶ月学んだ後、自動車商会の社長付運転手として実務に励み、免許試験に一発で合格。その技術も抜群であったという。

戦後多数の女性ドライバーが誕生したが、当初は「ひめ・トラ・3ダンプ」などと言われた。このような批判の根底には本来男性の分野であると思われる仕事に女性が進出してきたことに対するやっかみがあったとみられる。

現在はマイカーばかりで無くタクシーや工事現場の大型車両・バスの運転など多くの分野に女性が進出している。

岐阜県の運転免許保有者は令和6年男性723,706人女性660,143人と免許保有者の48%となっている。

～日本交通安全協会資料より～



日本で初めての女性ドライバー。
向かって右側が渡辺はまさん。
(東京朝日新聞、大正6年7月13日より)

交通安全クイズ

問

交通安全協力金は主にシートベルト・チャイルドシート着用の推進や飲酒運転の根絶・高齢者の

に使われています。

～親を見て 子供も止まる 赤信号～

応募要領

答え、郵便番号、住所、名前、電話番号を
葉書に記入して10月31日までに

〒505-0034

美濃加茂市古井町下古井2610

加茂地区交通安全協会事務局 宛 にお送りください。

抽選で30人の方に記念品をお送りします。